

## Lesson 2 動詞と文の構造

- [1]** (1) visited (2) reach  
(3) tastes (4) Raise

解説

- (1) go「行く」は自動詞なので、あとに目的語を置くことはできない。visit「～を訪れる」は他動詞なので、あとに目的語を置くことができる。  
(2) arriveは自動詞なので、「～に到着する」は arrive at (in) ～と、前置詞を伴う。reachは他動詞なので、あとに目的語を置くことができる。  
(3) 「～な味がする」は自動詞tasteを使う。very sweetは補語(C)であり、この文は SVCの文型である。  
(4) 「～を上げる」は他動詞raiseを使う。riseは自動詞で「～が上がる」という意味である。

- [2]** (1) were broken  
(2) is being repaired  
(3) be seen  
(4) has, been published

解説

- (1) 「割られた」は受動態〈be動詞+過去分詞〉で表す。主語These windowsは複数であり、なおかつ過去の文なので、be動詞は wereにする。breakの過去分詞はbroken。  
(2) 「修理されているところだ」は進行形の受動態〈be動詞+being+過去分詞〉で表す。  
(3) Cherry blossomsとseeは「桜の花が見られる」という受動の関係なので、受動態で表す。助動詞を含む受動態は〈助動詞+be(原形)+過去分詞〉で表す。seeの過去分詞形はseen。  
(4) 「出版されたことがない」は完了形の受動態〈have[has] been+過去分詞〉を否定形にして表す。

- [3]** (1) bring me an umbrella [bring an umbrella for[to] me]  
(2) named me Ami

- (3) gave an album to Rick  
(4) cook fish for us

解説

- (1) 〈bring + O(人)+ O(もの)〉で「人に～を持ってくる」。〈bring + O(もの)+ for[to] + O(人)〉でも表せる。  
(2) 〈name + O + C〉で「～を…と名付ける」。  
(3) giveを動詞とする文で、前置詞toを使って「だれに」を表す場合、〈S + give + O (もの)+ to + O(人)〉という語順になる。  
(4) cookを動詞とする文で、前置詞forを使って「だれに」を表す場合、〈S + cook + O (もの)+ for + O(人)〉という語順になる。

- [4]** (1) get off (2) looking up  
(3) Turn on (4) put off

解説

- (1) 「～を降りる」はget offで表す。助動詞willがあるので、getは原形のままにしておく。  
(2) 「～を調べる」はlook up ～で表す。「調べている」と現在進行形の文にしなければならないので、lookをlookingにし、空所の前にあるareと合わせて〈be -ing〉の組み合わせをつくる。  
(3) 「(明かりなど)をつける」はturn on ～で表す。命令文なのでturnは原形のまま使う。  
(4) 「～を延期する」はput offで表す。受動態の文なので動詞を過去分詞にしなければならないが、putの過去分詞はputで、原形と同じつづりである。

- [5]** (1) Please take off your shoes here.  
(2) This building was built a hundred years ago.  
(3) He bought me a cute hat for my birthday.

解説

- (1) 「ここで靴を脱いでください」take off ～で「～を脱ぐ」という意味なので、これをそのままPleaseのあとに続ける。

- (2) 「この建物は100年前に建てられました」主語は「この建物」なのでThis buildingである。wasとbuiltを合わせると、〈be動詞+過去分詞〉で受動態の形になる。最後に時を表す副詞句としてa hundred years agoを置く。

- (3) 「私の誕生日に、彼は私にかわいい帽子を買ってきました」forがあるが、これはfor my birthdayで「私の誕生日に」とするために必要なので、残りの語句で〈S + V + O(人)+ O (もの)〉という表現をつくる。ここでは「人」がmeで「もの」がa cute hatになるので、その順番で並べる。

- [6]** (1) I showed Tom some of my old photos. [I showed some of my old photos to Tom.]  
(2) His animation is loved by people all over the world.  
(3) My mother raises vegetables in her garden.  
(4) What are you looking for?

解説

- (1) 〈S + V + O(人)+ O(もの)〉または〈S + V + O(もの)+ to + O(人)〉の文型を使い、Tom「トム」とsome of my old photos「私の古い写真のうちの何枚か」をそれぞれあてはめてつくる。  
(2) 主語をHis animation「彼のアニメ」とした受動態の文をつくる。動作主は「世界中の人々」なので、byを使ってby people all over the worldとする。  
(3) 「～を栽培している」という意味の他動詞としてraiseが与えられている。目的語は

vegetablesである。

- (4) 「何を」をたずねる文にするので、Whatで始める。look for ～で「～を探す」。「探している」という現在進行形の文なので、〈be-ing〉を使う。